

IV 津久井地区 ～森と湖の都 人と自然と産業が共生するまち・津久井～

<主な取組み>

1 水源地と豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり

水源の森林づくり事業により水源林を確保するとともに、ダム貯水池の堆積土砂をしゅんせつし、エアレーション*及び植物浄化施設により水質浄化を行うなど水源地域の環境保全に努めています。

また、県立陣馬相模湖自然公園の公園計画の見直しと公園歩道の整備を進めました。

さらに、水源地域交流の里づくりの交流イベントを各町内で開催するとともに、交流基盤として和田の里体験センター「村の家」の整備を行いました。

2 都市との交流による魅力ある産業づくり

津久井湖城山公園の園路及びパークセンターの整備など観光の拠点づくりを行うとともに小松・城北地区の里山の保全活動などを推進しました。

あわせて観光魅力づくりの推進を図るためモニターツアーを実施するとともに、イベントを中心としたプロモーション活動や施設案内看板設置などの観光PRを行いました。

また、特色ある農林業を展開するため地産地消を推進する「みのりの郷(さと)」づくりを津久井町および藤野町において行い、大豆、ブルーベリー、ユズなどを栽培し地域特産物の生産・加工・販売の検証を行うとともに景観植栽などの整備を行い、都市地域との交流を軸とした新たな農業の展開に取り組みました。

さらに、肉用繁殖雌牛を耕作放棄地に放牧し、畜産振興及び荒廃農地の解消を図りました。

3 地域に活力を与える道路などの基盤整備

津久井広域道路の用地買収や県道520号（勝瀬橋）の橋りょう工事など多様な交流を支える道路網の整備を進めています。

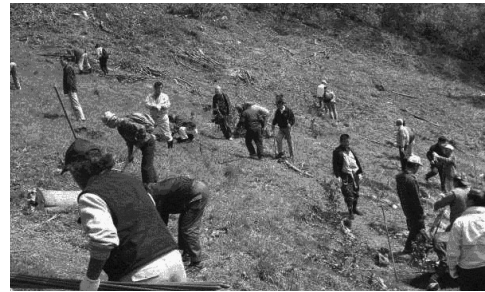
また、生活交通確保対策としてバス事業者への支援など乗合バス路線の維持に努めています。

そのほか境川の多自然型護岸整備や治山工事を実施し、自然災害に強い治山治水対策を推進しています。

<課題と今後の対応方向>

多くの都市住民が訪れるよう、観光と農業が一体となった活力ある地域の形成をめざし自然公園や交流施設などの整備を行うとともにイベントやモニターツアーの実施、観光PRなどに取り組みます。

また、引き続き津久井広域道路などの整備を進め、地域の交通ネットワークの形成を促進します。



みのりの郷でのユズの植栽(藤野町)



津久井湖城山公園(パークセンター)

地区の数値データ(指標)

○生活排水処理施設整備状況

(単位：%)

2002	2003	2004
55.6 [94.7]	57.1 [95.3]	58.7 [95.8]

※[]内は、県全体の整備率

(「大気水質課調べ」より作成)

○入込観光客数

(暦年)(単位：千人)

1984	1994	2004
4,349 (3.2%)	3,208 (2.0%)	2,877 (1.8%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」

(神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○販売農家戸数、65歳以上の農業就業人口比率、 耕地面積、耕作放棄地

項目	1995	2000	2005
販売農家数(戸)	593 (2.7%)	460 (2.4%)	342 (2.1%)
65歳以上の農業就業人口比率(%)	52.7(-)	62.3(-)	66.5(-)
耕地面積(ha)	981 (4.1%)	812 (3.7%)	808 (3.8%)*
耕作放棄地(ha)	155 (12.8%)	164 (11.3%)	241 (15.1%)

(耕地面積は「神奈川県農林水産統計年報」より作成、

他は「世界農林業センサス結果概要」より作成)

※は2004年度のデータ

○主要道路の平日12時間交通量の推移

(単位：台)

路線名	観測点	1990	1994	1999
国道412号	津久井町長竹	8,175	9,450	11,422
国道412号	津久井町三ケ木	8,061	9,090	12,078
国道413号	津久井町中野	13,844	14,228	15,466
国道413号	城山町久保沢	12,031	11,010	12,471

※交通量は、乗用車・バス・小型貨物・普通貨物の合計

※午前7時から午後7時までの交通量

(「道路交通情報調査」より作成)

※()内は全県に占める割合